

や 広報たしる

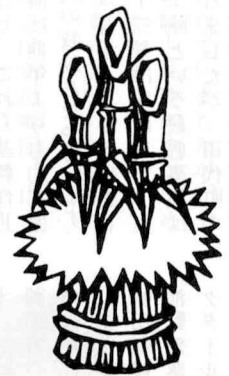
No. 353

昭和58年1月号

田代町総務課編集

1,500部発行

昭和58年



亥

明けまして

おめでとう

ございます

「猪」（いのしし）、この文字から連想するのは、ほとんどの人が狩猟期の獲物を考えられるのではないのでしょうか。

なるほど昔から、猪の肉は脂肪が多く美味なため、また内臓を丈夫にし、肌を美しくするという
ことで食用とされ江戸時代には「牡丹」と呼ばれ、
賞味されていたということです。

猪はふだん十頭くらい群れをつくって住んでいます
すが成長した雄（オス）は群れに加わりません。
これは、まさに一人立ちした人間が自分の力で
道を切り開いて行くことに意味をとらえても
いいのではないのでしょうか。

猪突猛進ということわざの意味とあわせて、
自分の考えをしっかりと持ち、結果を恐れて不安だ
らけで進むことなく猪々のようにひたすらに突
き進み、自分にとってよりよい年になるよう頑
張りましょう。

活力に満ちた緑と心の豊かな町づくり



町長 猪鹿倉 義則



町民の皆様、明けましておめでとございます。

輝かしい昭和五十八年の新春を心からお祝い申し上げますと共に昨年一年間、町議会をはじめ町内各種機関団体ならびに町民各位の積極的な御助言御指導を賜り、深く感謝申し上げますと共に皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

昭和五十七年は農林業を主軸とする本町にとりましては色々な面から最悪の年であったと申しあげても過言ではないと考えます。

昨年四月十日、十一日と十九日、二十日の二回にわたる異常低温、晩霜の被害は収穫期の一番茶を中心に、葉たばこ、桑、野菜等に大きな被害をもたらしました。特に茶は一番茶だけでも昨年の売上げ

実績に対し一億二千万円の減収となり、晩霜による茶の被害としては過去最高であり、戦後最大の被害となりました。葉たばこも晩霜害、異常気象による病害の多発、加えて前年より耕作者一人の減耕作面積二七〇アールの減反等、悪条件が重なり収納代金一億四千九百五十五万八千円（目標対比率八六・五パーセント）となりました。

おいしい米の銘柄田代米にしても五六〇〇万円の減額（目標対比率七九・三パーセント）、更に町の最も重要な基幹作目であります畜産部門につきましても子牛の販売頭数は前年に比し六十九頭の増加にもかかわらず子牛販売総額は二億四千四百万円の前年子牛販売価格より三千三百万円の減となり、これら基幹作目の販売額は前年よりも約二億三千万円の減収となっています。

昨年八月十五日より接近した台風十三号は幸にして、大隅半島上陸という最悪事態はまぬがれましたが、田代町でも瞬間最大風速四十一メートル

ル、連続降雨量三一〇ミリメートルとなり、更に台風十八号等相次いで激甚な災害が発生し、農作物をはじめ、農地農業用施設、森林等に甚大な被害を生じました。

しかしながら、このような状態の中でも町の振興作目であります野菜（特にキヌサヤ、イチゴ）、菊、ユリ、早掘り竹の子等は順調にのびつつありますことは今後大いに期待されるものと確信いたしております。

近年内外の厳しい情勢におかれた中で田代町の産業振興、過疎からの脱却を目指し、町民の生活の安定と福祉の充実を推進して参りました。

五十七年会計年度も色々な事業を推進してまいりました。が順調に進歩いたしております。これもひとえに皆様方の御協力の賜と存じ厚く御礼を申し上げます。

主な事業を御紹介しますと水田転換整備事業によります池野部落桑木ヶ迫一・七五ヘクタールの圃場整備、地区再編農業構造改善事業によりま

す新田部落華尾地区の水田圃場整備六・一五ヘクタール、同じく新田地区簡易給水施設井手駄床の茶園定置配管施設（スプリングラー）二・七三ヘクタール、第三期農山漁村特別対策事業によります山下部落山神地区の水田圃場整備六・九五ヘクタール、農用地利用増進特別対策事業によります折小野地区の水田圃場整備二・八五ヘクタール等農用地の基盤整備をはじめ、表木部落の集落センターの建設、

鶴園地区の馬渡橋の架設、国道（表木地内）県道、町道合計十五路線の改良舗装や花瀬公園の流水プール、スライダールール等が整備充実されましたことは関係受益者は勿論のこと、町民ひとしく喜びに堪えないところであります。御存知のように国は昨年より、臨調とか行政改革の旗印のもとに農林業をはじめ商工業や福祉等の施策に鋭いメスを加えようとしています。

特に農林水産省関係に於いては、現在一一〇〇項目くらいある補助事業を約半分ぐら

いに削減するような政策もあるやに聞きますが、私共としてはましては、明るく豊かな町づくりを目標に町民の英知と総力の結集のもとに昭和五十八年も県が提唱する農村振興運動を基調として、農林業の諸施策を積極的に町民の皆様と共に取り組んでまいりたい所存でありますので関係地区住民の方々の一層の御理解と御協力を懇願するものであります。

尚、昭和五十七年暮に、地区毎に二回目の座談会も開催して御説明申し上げました肝属南部の国営農地総合開発事業の推進にも格別の御理解をいただきましたと思います。

昨年より小組合長さんを通じて提唱いたしました一村一品運動にも積極的に御参加をいただき、将来の田代の村自慢となるような特産物の選定をしていただき、これが未来への希望がもてる産業として育成してまいりたいものだと考えます。

以上、過ぎ去りし反省の上に立ち初めに返って新しい年

成人式を迎えて



牧原 信二 (錦江信用組合)

ばこも気象関係のための病害で心配されていましたが、その被害も最小限度に食い止めることができましたことは、誠に御同慶にたえない次第であります。

特に昨年は新田地区、山下地区、折小野地区、桑木ヶ迫地区の圃場整備、町道、農林道改良舗装整備、馬渡橋の完成、花瀬公園整備、その他各種事業も順調に進められています。

今年も明るく、住みよい豊かな明日に伸びる村づくりをめざして、施策がうちだされたいと思います。私共議会といまして、町民の皆様への付託にこたえるため研鑽をかさね、最大の努力を傾注する所存であります。

今年の田代町が幸せに恵まれた良い年でありますことを心からお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。

昭和五十八年への考え方的一端を申しあげまして新年の御挨拶いたします。昭和五十八年 元旦

新年のごあいさつ 田代町議会議長 右田 始



町民の皆様、あけましておめでとございます。

輝かしい昭和五十八年の新春を迎え、皆様の御健康を心からお祝い申し上げます。

国におきましては、中曽根内閣が行政改革、財政再建をもとに、いろいろの施策がうちだされておき、地方自治体においてもこの波及が考えられます。

私達地方議会の責任も益々重くなってくるものと思われ

ます。わが田代町も猪鹿倉町長を中心

に町民の福祉向上を図る町政諸施策に積極的に推進いたしてまいりました。昨年は四月の晩霜で、茶に大きな被害を受け、また葉た



今、成人と言う言葉で飾られた道に初めての第一歩を踏み入れ、不安をよそに何か今までの違うものに出逢ったような壮快な心持である。しかし、成人となったからにはいい加減な行動、生活は、出来ない。その反面自分という人間のあり方、生き方が違ってくるような気がする。何をすることも責任をもつという事は、言うまでもない。今までの考えは、何をしてもあまり責任という事は、考えず自由に色々やってきたと自分では思う。それが今、考えれば、地域社会において責任という事が、もっとも重視されるものではないだろうか。また、人間関係についても、それは言えると思う。自分だけがよければいいと、

言う利己主義的なものであればならぬのである。人間は、個人差が常にあるわけである。一人一人の考えでなかなか思うようにいかないものが人間関係であって、さまざまな要素があつまって初めて一つの物事が成立する。その上で我々より経験豊富な先輩方の意見を聞いたりして自分なりに何かを得ることができれば、プラスになり今まで考えていたような幼稚な考えのマイナス面がうまく補われると思う。今から自分が学ぶべき事は、だれも、手だすけしてはくれない。たんに、人から色々な事を学ぶとしたら、人のいいものを見つけてこともまた大切ではないだろうか。実際に、自分も今まで、20年間生きてきて、人間のふれあいと言うものも大事である。一つのふれあいが大きな利益として生まれる。自分の仕事は、何んといっても人とのふれあいを大切にしなければならぬ。もしそれをうらぎられるとす



白 桃 里子 (なんぐろ農協)

二十才になって思うことはただ十代から二十代になったということ。大人の仲間入りをしたからと言って、今までとは違った、風が吹くということもないと思います。今まで子供だと思って、何をしてもいい、いつも、両親や友人に頼ってしまいがち、人を頼らなければ、それを行動に移すことが出来なかったのにこれからは、自分の行動に責任をもって生きて行かなければなりません。

昭和57年 田代町の主なできごと



完成したスライダープール

- 田代町第1回身障者スポーツ大会実施
- 田代町心配ごと相談所開設
- 川南地区、農業構造改善優良地区として農林水産大臣賞受賞
- 第三期山村振興農林漁業対策事業認定
- 華尾地区再編農業構造改善事業認定
- 拠点地区村づくりモデル整備事業認定
- 農村基盤総合整備事業（麓地区）完成
- 池野林道完成
- 台風13号通過、猛威をふるう！
瞬間最大風速41メートル
最大雨量310ミリメートル
- 晩霜、田代茶に史上最悪の被害を与える。
- 田代町新規就農者11名の中に9名の女性誕生
- 田代町より2人の派米研修生選ばれる。

農業研修生 一 川路俊浩君
MBC派米高校生 川前康博君



子ども会育成者養成研修会

- 青年団国内研修実施～中国、四国地方6名参加
- 第1回青少年団体リーダー宿泊研修実施～花瀬公園キャンプ場

行政一般

- 交通死亡事故「0」1000日達成今なお継続中
- 花瀬公園レクリエーション村、プール施設の完了により全施設完成。
- 馬渡橋完成
- 県道大根占、内之浦線が国道448号線に昇格
- 圃場整備進む ～ 高田山、瀬戸口、桑木ヶ迫、長谷、江郷、新田、山神、折小野の各地区



完成間もない頃の高田山地区（新田）

教育

- オール田代野球チーム、郡民体育大会において3年連続優勝
- 第一回田代町ソフトボールリーグ開催
Aクラス優勝 バイオニア
Bクラス優勝 クラブグリーン
- 各種ママさんスポーツチーム結成
ママさんバレー、ママさんソフト、ママさんバトミントンなど
- 大原小全国表彰受賞～学校給食、交通安全教育活動など
- 第一回子ども会育成者養成研修会実施
- 青年団、県青年大会へソフトボールの部肝属地区代表として2年連続出場準々決勝で借敗

田代町消防出初式

1月6日
午前10時

田代小学校校庭

職場に於いてもいつも常日頃から上司に言われています。自分の行動一つで物事を左右されそれが職場に対して信用を失うことがありうると思います。職場に対してだけでなく自分自身も信用されなくなりそして誰も振り向いてくれない。なる信用を失うと今度はそれを取り戻すという事は、自分を信用してもらおうと相手に訴える勇気が必要だと思います。

自分自身信用を失なわれたいようすべての行動に責任をもち、自分で一つの目標を立ててこれからの長い人生を、悔いのないように、歩んで行きたいと思っています。

国民年金コーナー

二十才です 成人です
国民年金です

成人を迎えられた皆さんおめでとう。
あなたも二十歳になると、成人として多くの権利と義務が生じます。国民年金に加入するのその一つです。国民年金は農林漁業、商工業、サービス業などの自営業者とその家族、従業員五人未満の職場で働く人々とその家族のために国が行っているものです。

この国民年金に、今二千七百一十万人が加入し、一千万人以上の人々が年金を受けており、わが国では一番大きな年金制度です。国民年金に加入して一年以上の保険料を完納すれば、交通事故で障害者になったり、夫に死なれて未亡人になったりしたとき、生涯を障害年金や母子年金で保障されます。職場が変われば、その年金に連動されて、掛けた保険料は無駄になりません。そして、最低二十五年の保険料を納めると隠退後に老齢年金を受けて、しっかりし

二十歳と選挙権
政治に参加する
道を大切に

二十歳になると生ずる権利の一つに、選挙権があります。わたしたちは選挙権行使することによって、国の政治をはじめ都道府県や市区町村の地方政治に参加することになるのです。

しかし、実際に投票するには、市区町村の選挙管理委員会が作成する「選挙人名簿」に登録されていなければなりません。市区町村の選挙管理委員会は、その市区町村に住居があり、かつ三か月以上住民基本台帳に登録されている者の中から、満二十歳以上になった者を、毎年九月（選挙があらは選挙の直前）に選挙人名簿に登録します。一度名簿に登録されると、住所を移転しない限り永久に登録されています。引越した

などで住所を変えた場合には、必ず住民票の移動届を出してください。そのままにしておくと、選挙権の行使ができなくなってしまうのです。

あなたに与えられた、貴重な権利、選挙権を有効に使うためには、まず棄権をしないことです。

候補者のことを知る手がかりには、街角に掲示されるポスターのほか、次のようなものがあります。

▽選挙公報：各戸ごとに配布されますが、新聞などに折り込まれて配布されることもあります。

▽街頭演説：駅前広場などで行われます。

▽個人演説会：ポスターなどで場所や日時が知らされます。

つづがむし
恙虫病を予防しましょう

恙虫病とはどんな病気か

- 恙虫（ダニの一種）に刺されておこる病気
- 恙虫は約0.3～0.5ミリメートル位で肉眼では見えにくく、しかも刺されてもすぐ気付かない。
- 届出伝染病であるが人から人への感染はなく、治療には抗生物質（テトラサイクリン系統）がよく効く
- もっとも多く発生する時期は秋から冬である。
- カゼによく似た症状で始まり食欲がなくなり、

- 全身がだるくなる。
- 激しい頭痛を伴い、寒け、発熱があり5～6日で40℃に達することもある。
- 発熱と同時にまたは3～5日して全身に米半粒位の痛くもかゆくもない赤いブツブツが出る。

恙虫病を予防するには

- 上着を脱いで草むらに置かない。また身体を露出したまま山間部や草むらに入らない。



劇の一場面（一年）

十二月になり中学三年生にとっては、来春卒業後の進路について考えを固める時期に入ってきた。本校では、第一回にひき続き、第二回の三者面談を行う。現在状況としては、就職希望は女子五名。男子の訓練校希望が二名。しかし、これは純粋な希望であり就職か進学かまだ判断のつかない生徒も数名いる。進学希望においても学校の選択に心迷う生徒が少なくない。学活、教育相談、個別指導

悩みつきない

進路選択



全員斉唱

来年は、更に盛り上がった充実した文化祭になるようにと、生徒職員共々気運に満ちている。

大原 中学校

教育だより

校内文化祭開催

去る十一月二十日第六回校内文化祭が行なわれた。少ないゆとりの時間をみっちり利用し、練習に励み、それぞれの生徒がその成果を発表した。企画、運営も生徒会の文化部が中心となりうまく進められた。また、同時に作品の展示もなされたが、いつもより出来がよく好評だった。特に今年は、美術クラブの油絵も出品され、花をそえた感じだった。父母の参観も例年になく多く、五十名を越した。ただ暗幕装置や照明装置が備わった、もっと見栄えのする演技が出来たものと思う。

今年も歳末助け合いの募金運動が始まった。児童会では役員が中心になって、登校時間に募金箱を胸に全校児童に温かい真心の募金呼びかけた。大人顔負けの募金活動で、全児童の真心が箱いっぱいにつめられた。集まった募金の

生きた教材

田代小学校

地区防火ポスター入賞者

- 特選 三年 山野輝行
- 特選 三年 赤池健作
- 入選 二年 永野公作
- 佳作 二年 宮原栄子



励ましのことは 園田君、突然のことではくたちもびっくりしました。悲しいことを乗り越えて、元気でがんばっている君の姿に心を打たれました。

送金事務まで一切を児童会で処理した。児童会の活動は、これだけではない。ある日突然、事故で父をなくし、両親とも失った五年生の友だちへの思いやりであった。児童会長へ（猪鹿倉昭浩君）が、このことを見かねて「園田君を励まそう」と提案し、再び募金を全校に呼びかけた。みんなも賛成して募金が始まり、まとまった金が集まった。これで洋服を購入して土曜日の土曜集会で贈呈し激励した。

かくされた才能発揮

十一月三十日に大勢の父兄の前で、学習の成果を発表する学習発表会が行われました。親が気づいていない個性や才能を子どもたちは、惜しみなく披露した。これに親も盛んな声援を送っていた。また、この日に学習農園で収穫した唐芋を六年生がビニル袋に入れ即売しました。市価より値段が安いとあって、たちまち売り切れた。買えなかった人のために、六年女子が残り唐芋を袋に入れて追加販売するという嬉しい悲鳴。自分たちの力が、大きく役立つことを今更のよう

に感じることだろう。この益金は、校内テレビ放送のビデオテープ購入に当て子どもたちの学習に役立てることになっています。

保健だより

「カルシウムの働き」

体重55kgの人で約90gのカルシウムが体内に存在し、その99%は骨や歯に、残りは血液や筋肉に含まれています。カルシウムが不足すると骨や歯が弱くなるばかりでなく、精神的にも不安定になり、少しの刺激で、異常に興奮したり、血も止まりにくくなります。日本は土壌が火山灰の為生産される農作物にもカルシウム含量が少なく平均的にカルシウム不足の状態にある為、意識的にカルシウムを多く含む食物を食べなければなりません。特にカルシウムを多く含む食品はひじき、わかめ等の海藻類、牛乳及チーズ等の乳製品、しらす干、煮干し、きびなご等の小魚、豆腐及豆製品等です。カルシウムは体内に吸収されにくい栄養素の為効率よく吸収され利用されるには、共に食べる食品の組み合わせが大切です。まず第一は良質の蛋白質（魚・乳・肉・豆腐・卵など）を適量にとる事により吸収率が良くなります。小魚を骨ごと食べるとかチーズ等が

その例です。第二はビタミンA、C、Dなどが多く含まれる食物（緑黄色野菜、海藻類、雑穀類など）と共に食べると吸収もよく歯や骨の成分としての利用も高まります。第三に牛乳や乳製品のカルシウムはよく吸収されるので積極的に利用をすると言う事です。第四に食事の中のカルシウムとリンの比率が1対1〜1対2の範囲にある様にしたい事です。特に子供達の好きなハムソーセージ・即席ラーメン等の即席加工食品にはリンの量が多いので健康上好ましくありません。カルシウムは妊婦、子供（小学生）は特に多く必要です。し更年期以後の婦人や老人でも吸収される量が減りますので注意が必要です。私達の健康はもちろんカルシウムだけでは保てません。多くの食物をバランスよく摂取する事が全ての健康に通ずると思います。例えば今迄の食事に牛乳一本（スキムミルクなら大さじ4杯）と毎回必ず緑黄色野菜類を一皿食卓に追加する事により食事内容はずっと改善されるはずです。これから年末年始にかけ暴飲暴食で食事のバランスも乱れがちです。



おもちゃやおせち料理、焼酎ばかりに頼らず毎食バランスのとれた数種の食品の摂取に心掛け、絶対に過食にならない様注意しましょう。又風邪の季節です。外から帰ったらうがい、規則正しい生活で慢病の素である風邪からも身を守りましょう。今年も健康で明るい生活になるようお祈り致します。

役場からお知らせ

- 昭和五十七年十二月一日付をもって職員の異動がありましたのでお知らせします。
- 退職 上ノ原鉄次（元建設課長）
- 建設課長 牧原 節（元教委総務課長）
- 教委総務課長 田代凱洋（元教委総務係長）
- 教委総務係長 小牧三郎（元厚生年金係長）
- 厚生年金係長 鮎川紀明（元民生課主査）

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

人口のうごき		前月との増減	
基本台帳人口	57年12月1日現在	増	減
男	2,164人	△2人	
女	2,335人	△9人	
計	4,499人	△11人	
世帯数	1,473戸	△2戸	

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



新年を迎えて

教育長 池田一雄

明けましておめでとうございます。

新年を迎えるに当り、昨年を振り返ってみますと、学校においては新教育課程が実施されて小学校は三年、中学校は二年になりその成果が定着しつつありますが、更に今後反省検討を加え、よりよいものに完成していく年であると思ひます。

それぞれの学校では、特色ある学校づくりに努力してきたところであります。特に児童、生徒の学業指導、生活指導や校内研修等を通じて一段の努力をして参りました。その結果は新聞等で各学校の活動の様子が紹介されたり、児童、生徒の作品が県、郡のコンクールに多くの入賞者を出したり、文部大臣表彰や全国表彰、県表彰などにみられるところであります。

今年も更に努力をいたし、町民の皆様のご期待にそいたいと思ひます。

他方社会教育においては各種教室や講座等例年通り開設して参りましたが、参加者は今一つであります。生涯教育

の叫ばれている今日皆様方の深いご理解をいただきたいと思ひます。

また、運動やスポーツを通じてのふれ合いの場や体力づくりは非常に盛んになって参りました。喜ばしいことであります。

一方文化活動においてもグループや同好会が次々に生まれ、会員も増えて参りました。増々盛んになることを期待いたします。

また、文化活動においてもグループや同好会が次々に生まれ、会員も増えて参りました。増々盛んになることを期待いたします。

本年は地域や団体の教育力の向上に努力して参りたいと思ひます。町民の方々の深いご理解とご協力をお願いいたします。

少年団体育成者

研修会

去る十二月十一日、開発センターにおいて少年団体育成者研修会が実施されました。

この研修会は、少年団体（子ども会）の育成者の方々がそれぞれ子ども会を指導していくときの技術、方法を学習する機会として実施されました。



た。第三回目の今回は、「記録と反省の仕方」「映画の利用の仕方」という内容を学習しました。

また、この研修会の中で、鶴園子ども会の朝よみ夕よみの実践発表が行われました。夏休み以来ずっと継続している様子が、スライドや録音テープを使ってわかり易く発表された。その中で実践の効果として、子どもたちに積極性が見られるようになったことや読みの力がついてきたことなどが報告された。

このように、着実に成果の上がっている朝よみ夕よみ活動ですが、今後より多くの子ども会が積極的に取組んでいくことが期待されます。

図書寄贈ありがとうございました。

柴立 木下喜一郎殿
上原 今村 忠一殿

新春スポーツ行事案内

＊フマ、リーバトシントン大会

一月九日（日）大原中体育館を会場として開催します。

親子のふれ合い、住民相互の親睦を深めながら体力づくりを目的にしていますので多数の町民の皆さんの参加をおねがいします。

実施方法、申し込み方法
。受付、当日12時30分まで
。試合、ダブルス戦のみ

部 小学生とその親
一 中学生とその親
。ペア 小学生2人
部 中学生2人

。申し込みは、教育委員へ（電話で結構です。）
二 一般2人



※町民体力づくり

マラソン

一月二十三日（日）町民の健康づくり、体力づくりをねらって、第一回目のマラソン大会を実施します。

最近ランニングを愛好する

人が増えてきています。走ることが健康づくりにたいへんよいといわれていますが、老若男女を問わず参加できる魅力があります。

奮って参加して下さいようおねがいします。

距離と申し込み

3 kmの部
小学生、中学生女、高校女
一般女子
5 kmの部
中学生男、高校男、青年男

壮年（30以上）は限定しない
申し込みは所定の様式に記入の上教育委員会へ

＊町民卓球大会開催
第五回町民卓球大会が去る十二月五日行われました。13チーム50名の参加で本年最後の大会にふさわしいものになりました。

結果は次の通り

△団体戦▽
優勝 田代中（神田宮原松元）
△個人戦▽
。一般の部

優勝 牧原幸一
二位 安田憲次

。壮年男子の部
優勝 阿部俊光

。女子の部
優勝 井元つ子
二位 小倉美空